



栄光園だより
第136号
2024年7月31日発行
発行
社会福祉法人 栄光園
別府市南荘園町3組
〒874-0904 電話 (23) 2827
<http://www.eikoen.jp/>
編集 広報誌編集委員会
印刷 大野印刷株式会社
別府市青山1-7 電話 (21) 0505

乳幼児総合支援センター 栄光園 竣工式

乳幼児総合支援センター 栄光園

施設長 安西 恵子



晴れた日の5月30日、無事に竣工式を迎えることができました。

当日は、大分県知事、別府市長、全国乳児福祉協議会会長、日本財団理事長をはじめ多くの関係機関の皆様や支援者の皆様に御臨席いただきました。ここまで来られたのも皆様の多くの御支援がありました。大変感謝いたしております。ありがとうございます。

乳児院栄光園は、高機能化・多機能化を目指し、乳児院の機能は継続し新たな支援体制を整え乳幼児総合支援センター栄光園と名称を変更し地域の支援や里親の支援を強化するようにし、5つの支援体制にしました。



入所支援

入所のこともたちへ丁寧な養育と、保護者支援や里親支援を引き続き行います。各居室を小規模化し、一対一の関りが多く持てるようにしています。より愛着関係を築き温かみのある家庭的な養育が行われます。

養子縁組里親支援

4月から養子縁組里親支援機関プレス・ユウ（意味…あなたをつなぐ、あなたを幸せにする）となりました。養子縁組里親に特化した支援として、里親のリクルート、募集説明会、登録前研修、養育相談支援（アフターフォロー）を大分県より委託され行うこととなり、里親さんが相談しやすい身近な機関となり安心して子育てが行えるようになります。

地域支援

養育支援訪問事業や子育て世帯訪問支援事業では、助産師や保健師が訪問し親子の様子を見ながら養育支援

や相談支援、家事支援を行っています。見守り支援強化事業では、豊後高田市と今年度より新たに国東市と契約し、市から依頼を受けた家庭に訪問し親子の見守りを行います。

子育て短期支援事業では、ショートステイやトワイライトや里親レスパイトの受け入れを入所児童とは別の専用居室で預かることにより今まで以上に受け入れができるようになりました。新たに親子室を2部屋設けて、親子でのショートステイや里親マッチング、入所児童の家庭引き取り前の外泊練習がセンター内で、できるようになります。

訪問支援やセンターでの預かりをすることにより、その家庭にあった支援がより多くできるようになり家庭での養育が安定して行えるようになります。

子育て支援

産前産後の子育て支援として、プレマプレパ教室があります。初めて赤ちゃんを迎えるパパとママにお世話の仕方や心の準備、沐浴の仕方を教えています。離乳食教室も開始しています。地域の親子向けのイベントや季節の行事イベント、妊婦相談や育児相談も行います。妊娠期の早い段階からの関りを持つことで、相談しやすい環境が整い安心して出産に臨むことができ、また産後もすぐに相談できる場所となり子育ての不安や悩みの解消につながります。

こどもの居場所支援

こどもの居場所作りの事業として、

併設の児童養護施設栄光園と協力しながら保護者が帰宅するまでのこどもたちの支援をしています。課外活動や夕食の提供や入浴の提供も行います。その他にもこども食堂「くるみ」での食事の提供や地域交流イベントを行っています。

おもちゃライブラリーでは、おもちゃの貸し出しを行い地域との交流も行っています。

地域交流に参加することで、成長と共に起こる悩みや不安も地域で支援することにより子育てを見守ってくれる安心感にもつながります。

乳幼児総合支援センター 栄光園は、これまでの乳児院での養育を担ってきた専門性を活かし、こどもの適切な養育環境と永続的保障の充実に向け、地域に幅広い支援をしていきます。乳児院の閉鎖的なイメージを変え、気軽に相談できるような場所を目指していきます。今後ともよろしく願っています。

気軽に相談できる場所を目指して



乳幼児総合支援センター 栄光園 中庭

児童養護施設

高校受験に向けて

保育士 小野 紘子

私が所属している「マツモトホーム」は、小学生2名と中学生2名、高校生1名の女子計5名と職員4名で生活をしています。その中で、小学生の頃から長年担当させてもらっている児童が今年中学3年生となり、高校受験を控えています。現在は高校受験にむけて毎月学校でテストがあり日々勉強に追われています。

その子は、いきなり気持ちが落ちてしまう事があるため、勉強の声かけや一緒にテストの目標をたて達成できた時のご褒美を作りモチベーションが落ちないようにその子に合うサポートを考え、試行錯誤しています。現在、思春期ということもあり、ぶつかり、心無い言葉を言われることもあります。その際は、気持ちを落ち着かせたのち2人で話をする最終的には子どもは涙を流し、今の苦しさや不安な気持ちなど意見をぶつけ私は話を聞き、気持ちを受けとめています。この時間は2人の気持ちがある以上、近くに近くなり、これからは二人三脚で頑張ろうと思える瞬間です。時に厳しく言うときもあります。テストの目標が達成した時や順位が上がったと彼女が喜んでる時は、頑

張りを褒め一緒に喜んでいきます。

志望校や将来の夢は、まだはつきりしていないようですが、英語や海外に興味があるようなので、その子の興味のあふれる事が出来る高校と一緒に見つけていき、合格できると、支援をしている身としてはとてもうれしく思います。受験当日までまだありますが、悔いのないように過ごしてほしいものです。

子どもの将来が楽しく幸せなものとなるようお願い、これからも日々子どもと向き合い、丁寧に関わっていききたいと思っています。

オゴウホーム春の行事

お花見・いちご狩り



オゴウホーム 児童指導員

浦浜 由衣

新年度が始まり、現在オゴウホームでは高校生1名、中学生1名、小学生3名の5名が生活しています。小学1年生が加わったことでとても賑やかな日々を過ごしています。また、3名がそれぞれ入学を迎えた年度であり、期待と不安でドキドキの4月から3ヶ月が経ち、ホームでの生活も少しずつ落ち着いてきました。

オゴウホームでは今年度に入り、新しいメンバーとの交流を深めるため4月にはお花見、5月にはいちご狩りとふたつの行事を実施しています。4月のお花見は栄光園全体でのお花見が前日の雨で中止となり、子どもたちは残念がっていましたが、当日はなんと晴天



に恵まれ、ホームの庭で小規模ではありますがお花見をすることが出来ました。普段庭で食事をする事はないため、子どもたちも珍しい経験にわくわく！みんな大好きなウインナーを「何本目！」と数えながらたくさん頬張っていました。

5月のいちご狩りでは宇佐市のファームU・S・Aにてオゴウホームの全員でいちご狩りを楽しみました。それぞれ担当職員といちご狩りをし、オゴウホームで過ごす大人と子どもとの交流の機会となりました。いちご狩りがはじめての子も多く、片手で優しく収穫するのが難しく苦戦していましたが、大きないちごや真っ赤ないちごを見つけた大興奮！自分で収穫したいいちごを時間いっぱい食べて、子どもも職員も楽しむことが出来ました。

夏休みのキャンプ、年度末の行事などまだまだたくさん行事があるので、子どもたちの記憶に残る思い出を作れたらと思います。

乳幼児総合支援センター

栄光園

こどもの成長

りすグループ保育士 木下 紗矢香

私は、乳児院で働きはじめて4年目になります。今までは月齢の高いグループで保育を行っていましたが、現在は(6ヶ月〜1歳6ヶ月)の4名のこどもが生活しているグループに所属しています。初めてのグループで不安とドキドキの毎日ですが、こどもたちの成長には驚かされる毎日です。例えば、昨日は出来なかつた寝返りやずり這いを今日は出来るようになっていく。数歩しか一人歩きをしていなかったこどもが、10歩以上歩けるようになっていく等、こどもの成長を間近で感じられています。

こどもたち自身、日々の積み重ねで出来る事が増えていくのだと思います。今しか見ることが出来ないこどもの成長に関わる仕事に就けて良かったと思います。日々の保育でも、個々に応じた関わりをしていき、愛着関係を築いていきながら、出来た達成感を一緒に味わい、ともに成長していきたいと思えます。



地域支援く笑顔を届ける支援く

地域支援主任 松井 美穂

地域支援は、これまでの母子支援から、より地域に根差した支援が行えるように、乳幼児総合支援センター栄光園の開設に合わせて、地域支援として新たにスタートしました。幅広い地域の子育て世帯に寄り添い応援したいという想いで、3名の専属職員(保育士・栄養士・心理士)を持った職員がそれぞれの専門性を活かして支援しています。現在の活動は、要保護児童家庭の見守りや子育て世帯の訪問、妊娠期のプレママ・プレパパ教室、また、週に1度ホールを開放し、親子で一緒に楽しんだりくつろいだりできる場所を提供し

て、育児相談などを行っています。子育てに悩みや不安がある保護者には親子ショートステイを利用することで、家庭での養育がスムーズに行えるように一緒に考え支援を行っています。私たちは地域の子育て力の向上と家族に笑顔が増える支援を目指しています。

予防的な視点を持ち家族に寄り添うことで、つまずきの兆候に気づき、必要な支援へ繋げていくるように尽力してまいります。



青山保育所

保育士 阿部 梢

そらめくんのベッド

きりん組3歳児のお友だちは6月にそら豆の皮むき体験をしました。そら豆の皮は硬めで剥きにくかったようで、保育士や隣の友だちに助けってもらった子どもたちの姿も見られましたが、皮をむいて中から豆が出てくると「あつ! あめがでてきた!」と喜んでいました。その日のお昼寝前に「そらめくんのベッド」という絵本を見たのですが、そらめくんのベッドに白いフワフワがついていることがわかったと「あつ! こ

のしろくてフワフワのやつ、さっきあった!」と思い出していたSちゃん。色や感触の特徴までよく捉え、「いっしょ!」というところに気づけることはすごい発見だと感じました。子どもたちは本当によく見ていろんなことを感じています。

翌日みんなで皮むきをしたそら豆が給食のおかずにも美味しく変身して出てくると、子どもたちは嬉しそうにそら豆を発見し、お友だちと見せ合いながら楽しそうに食べていました。

「食べることは生きること!」これからも見る・触れる・嗅ぐなど、五感の働きを豊かにするような食育体験を通じて、食べることへの喜びや楽しさ、有難みなどを実感していけると良いなと思っています。

雨の日も楽しい!

保育士 荒金 由妃



梅雨時期になり雨の日が増えてきましたが、室内でも様々な遊びをしています。ぱんだ組1歳児のお友だちは新聞紙遊びや小麦粉粘土を作って遊びました。前年度では新聞紙を破ることができなかった子どもが、「びりびり」と擬音を口にしなが破く姿を見て、

こどもの居場所

こどもの居場所 主任
原田 康子別府市
児童育成
拠点事業
スタート

「ただいまー」とこどもたちが学校から帰ってきます。「今日のおやつ何?」帰ってからの一番の楽しみはどうやらおやつようです。おやつを食べ終わるとすぐに宿題に取り掛かり、宿題を終えると自分の好きな遊びを楽しみます。その後、夕食を摂り、入浴を済ませそれぞれの自宅に送り届けます。これが、6月より始まったこどもの居場所の毎日です。

別府市が今年度6月より開始した、課題を抱える児童の居場所を提供するという事業です。こどもたちの心身ともに健全な成長発達のために、こどもたちに安全・安心な居場所を提供し、生活習慣の形成や学習のサポート、食事の提供や課外活動の提供などを行い、必要に応じて送迎も行っております。

この居場所を利用している児童一人一人に寄り添い、それぞれの課題と一緒に向き合っていく中で自立に向けて歩みを進めてまいります。こどもたちの「もう一つの家」としてこどもたちが心地よく過ごし、心身共に成長していける居場所づくりを心掛けてまいります。

孤立が問題視されている現在の社会において、子育て家庭を支える最も必要な事業であると考えます。このこどもたちの居場所と居場所を利用する児童を温かく見守りご支援のほどよろしくお願いいたします。社会の宝であるこどもたちのために力を尽くしてまいります。





他にも風船やジップロックの中にフェルトボールやジェルを入れ冷たい感触を楽しみました。始めは戸惑いを見せる

うさぎ組0歳児のお友だちは様々な感触遊びを楽しみました。絵の具を垂らし画用紙の上にサラサラップを敷き、その上からたたいたり、指先で伸ばしたり、押ししたり、つついたりして色が動いたり混じりあい、様々な色や形に変化する様子をさわってみて楽しむことができました。

どんな感触かな？

保育士 原 美香子

今後室内での遊びを充実させたり、子どもたちの発達に応じた遊びを考えたりしていきます。



行動と音の結びつきができていくことや、大きな紙を割く指先の力がついてい

子どももいましたが、少しずつ慣れてくると保育士と一緒に感触を楽しむ姿が見られ、また別の日に同じ遊びをする自分から風船を取りに行き遊び始めようとする少し成長した姿がみられました。

感触遊びは手や足を使って素材や指先の感触、

において、音などを感じて五感を育むことができます。初めて触れるものが多い年齢だからこそ、色んな感触を味わって遊びを楽しんでほしいと考えています。

歯のみがき方を習いました

保育士 薬師寺 良

6月4日から10日の1週間は「歯と口の健康週間」でした。青山保育所に、大分県歯科技術専門学校（歯学生さん）が来て、歯に関する紙芝居やクイズを楽しんだり、歯のみがき方を習って練習したりと、歯に関することをたくさん学びました。

また、給食の後の歯磨きでは、お友だち同士で「こうやって磨くんだよ」と教えてもらったことを思い出しながら歯を磨く姿が見られました。

ぞう組4、5歳児の中には乳歯が抜けて



聖書の言葉

わが民は平和の住みか、安らかな宿
憂いなき休息の場所に住まう。

(イザヤ書32章18節)

別府不老町教会 牧師 尾崎 二郎

乳幼児総合支援センターの御竣工まことにおめでとうございます。そこに集われる方々、お一人お一人に、神様の祝福と御導きが豊かにありますように、お祈りしています。

今日の聖書の言葉は、5月30日の竣工式で語られました。神様は、高いところから私たちをご覧になられて、この様に言われました。このセンターを、神様は、平和の住みか、安らかな宿、憂いなき休息の場所として建てられ、これから豊かに用いようとしてくださいます。

今、この地上のどこに、平和の住みか、安らかな宿、憂いなき休息の場所があるのか？ 私たちは今、この究極的な問いを免ぜざるを得ないような、争いと混乱と焦燥の時代に生きています。

しかし、神様は常に落ち着いておられます。変わることがない神様は、常に次の言葉を、私たちに語りかけて下さいます。「見よ、神の幕屋が人の間にあつて、神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、彼らの目の涙をことごとくぬぐい取つてくださる。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない。最初のものは過ぎ去ったからである。」(ヨハネの黙示録21章3〜4節)

イエス様も一人のひととなられて、この地上で悲喜こもごもの生涯を送られました。そしてイエス様ほど、人から完膚なきまでに傷つけられた御方は、他にはいないのです。しかし、それゆえイエス様は、全ての人の目の涙をことごとくぬぐいとつて下さることがお出来るようになる唯一の方なのです。

さて、牧師というのは、自らが神と共にいて、神様に常に祈り続けている人です。神が目の涙をことごとくぬぐい取つてくださるとはいえ、地上にいる限り、牧師にも、悲しみや嘆きや労苦が絶えることはありません。

牧師は本来、専門知識を身に付けて、子ども達に働きかけたり喜ばせたりする役目ではないのです。牧師は、平和が行き渡り、人々が安らかに満たされ、憂いなき休息の場所が実現していくことを、祈り続けるのがその役目です。

「ついに、我々の上に、霊が高い天から注がれる」(イザヤ書32章15節)と神様は言われています。私たちは「霊」を受け、祈ることによって、神様と共にいて、ただ安らうことが出来るようになり、また子どもたちは神様に思いを寄せて、手を合わせて祈ることが好きです。私たちは心を合わせて祈る時、その場所に、神様の平和が実現していくのです。

永久歯が生えてきている子どももいます。永久歯はおじいちゃんおばあちゃんになるまで使う大切な歯です。また、乳歯の虫歯は永久歯にも影響するそうです。

保育園ではみがきが習慣になるように言葉かけをしたり、歯を磨いている姿を認めたり、褒めたりしていきます。

野口保育所

新年度がスタートして3ヶ月が経ちました。子どもたちは毎日友だちや保育士と一緒に楽しく過ごしています。7月からは子どもたちが楽しみにしていたプールや水遊びなど夏ならではの遊びも始まります。

子どもたちの様子を少しずつですが、お伝えしたいと思います。

野菜の苗植えや梅ジュース、梅干しを作ったよ！

主任保育士 末吉 佳奈

食育の一環として、今年は2歳児ミニトマト、3・4・5歳児はクラスで育てたい野菜ミニトマト・ミニきゅうり・きゅうり・枝豆・カラーピーマンの苗植えをしました。子どもたちは自分たちが植えた苗に毎日順番で水をあげ観察して収穫できる日を楽しみにしているようです。また3歳児クラスは梅干し作り、5歳児が梅シロップ作りもしました。梅ジュースにしてみんなで



飲んでみました。感想はそれぞれ違いましたが、保育目標の一つである「食育を通して楽しく食事をする保育」を目標に野菜の成長や収穫を通して、食べ物

の大切さや収穫の楽しさなどを知ってもらえたら嬉しいなと思います。

園内研修・保育心理カウンセラーについて

主任保育士 末吉 佳奈

今年度も九州産業大学子ども教育学科の阿部敬信先生に来て頂き、青山保育所と一緒に「子ども一人一人を大切に」する丁寧な保育を目指して「をテーマに基づいて研究保育を行い、二園全体で勉強しています。また月に一度法人内の保育心理カウンセラーの井生浩之さんにも来て頂いて、園児の気持ちに気付けるように勉強もしています。

阿部先生や井生さんと連携をとり、保育園とご家庭でも協力・連携しながら子どもたちがよりよい育ちに向かっているようまた支援が出来るようにしたいと思っています。

胡瓜の種まき



保育士 渡辺 智美

今回の園内研修では4歳児5歳児(年中・年長)で保育内容は食育を取り

上げ、胡瓜の種まきをしました。1人2粒ずつ蒔いた種は立派な苗になり、先日2回目の間引きをおえて畑に植えたところでした。1回目の間引きの時には「どっちをとろうかな」と1人で考えていた子どもたちでしたが、2回目の間引きの時には「どれを植えたいか」という友だちに聞いたり一緒に考えたりする姿も見られ、たくさん採りたいという気持ちが伝わってきました。

胡瓜の成長はもちろんです、食育を通して子どもたちの心も大きく育っているよう見守っていききたいと思っています。



保育参観

保育士 干潟 あずさ

6月8日土曜日に今年度初の参観日がありました。当日は制作や風船遊び、6月の虫歯予防にちなんで歯磨きシアターを見て、歯磨きの練習をしたり各クラスこの時期の年齢に合った遊びを取り入れました。

当日はどのクラスも親子でたくさん触れ合って楽しい時間を過ごしながら、保護者との雑談の中で子どもの様子をお知らせしたり、家庭での様子を聞いた

りすることも出来ました。

後日連絡ノートにお家の方から「子どもが楽しんでる姿を見ることが出来て安心しました」などたくさん感想を書いて頂き、保育士をやっている良かったなと喜びを感じた1日でした。

お家の方の言葉を励みにこれからも日々子どもたちが保育園生活を楽しく元気に過ごしていけるように頑張りたいと思います。



2024年度4～6月 職員の動静

退職

● 乳幼児総合支援センター

大久保瑞穂 (保育士) 4月30日付

森廣 恭子 (調理員等) 4月30日付

江川 遥 (保育士) 5月31日付

● 児童養護施設

豊島 央 (保育士) 6月30日付

地域交流事業

集いの場 くるみ

地域支援担当 原田 康子

2024年度のくるみがスタートしました。遊びに来てくれる子どもたち、協力してくださる方々のおかげで今年6年目を迎えます。始めたばかりの頃小学生だった子どもたちも今年高校生となりました。そこで、今年から昼食の準備を高校生にも手伝ってもらうことにしました。「くるみ」は、これからも年齢構成などを考慮していきながら体制を変え、子どもたちのよりよい未来のため進化していきます。どうぞ温かく見守ってください。

4月

4月は、久しぶりにグラウンドで思いっきり体を動かして遊ぶことができました。ゲームを楽しんだり、バトミントンや鬼ごっこなど思い思いの遊びを楽しんでもらいました。

今回から高校生2名に手伝ってもらいましたが、野菜の皮むき、サラダやデザート準備、カレーの味付けなど頑張って作業してくれました。そんな二人は、みんなが「おいしい」と言っておかわりをしてくれる姿を嬉しそうに見守っていました。その表情は、ちょっとした達成感を感じているようです



した。人のために頑張る喜びを感じてくれたのであればうれしい限りです。これからも子どもたちの心の成長を見守っていききたいと思います。

5月

5月は、竹で作ったおもちゃで遊びました。今回竹弓矢の制作は、子どもだけでは難しいものだったのでボランティアの方々がたくさんいてくださってとても助かりました。作り方を教えてもらいながら大人と一緒に作り上げていきました。出来上がるとすぐに飛ばし方を練習していましたが、遠くまで飛ばすのは難しいようでした。



グラウンドでは、竹弓矢を飛ばしたり、竹ぼっくりで遊んだり、竹馬に挑戦したりと思いの遊びを楽しんでいました。子どもたちにとっては、竹で作った手作りのおもちゃは新鮮だったのではないのでしょうか。昭和世代の私たちにとっては懐かしい遊びを楽しむことができました。

6月

6月のくるみは、「100万人のクラシックライブ」を行いました。今回は、東京から淵野日

奈子様、橋本知佳様の2名の方においでいただきライブを開いていただきました。

また、指揮者体験もさせていただきました。子どもたちの振るタクトに合わせて、早くもなったりゆっくりとなったり、音が大きくなったり小さくなったりと子どもの指揮に合わせて演奏してくださいました。自分に合わせて音を出してくれるのは気持ちよかったのでしようタクトを振る動作も本物の指揮者のような動きになっていました。子どもたちにとっても貴重な体験をさせていただきました。



指揮者体験

そして、何よりもうれしかったことは、間近でバイオリンの音を楽しませていただいたことです。会場内を淵野さんがバイオリンを奏でながら移動して子どもたちの耳元で音を奏乐させてくださいました。

良い音楽は日ごろの疲れも癒してくれるように感じます。子どもたちや、地域の方たち、そして子ども食堂に関わってくださっている方たちが今回のライブで音楽を楽しませていただきました。

今回のライブは、養田秀策様からのご寄付により行うことができました。このライブを開くためにご尽力くださった皆様方に感謝いたします。ありがとうございました。

6月の活動日の昼食は、ピザラ大分・別府店様よりピザのご寄付をいただきました。日ごろなかなか出ることが難しいメニューだったので子どもたちも大喜びで食べていました。ありがとうございました。

また、5月よりコルディアール農園（九州電力様・高速道路トールテクノロジー様）よりおいしいレタスをいただいております。柔らかくておいしいレタスなので子どもたちもパクパクとよく食べてくれます。ご寄付をいただきました皆様の温かいお心に感謝いたします。

ありがとうございます。



社会福祉法人 栄光園

2023年度 決算報告

法人単位資金収支計算書

自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日 (単位: 円)

寄付・招待・奉仕報告

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	児童福祉事業収入	473,247,000	500,599,568	▲27,352,568
	保育事業収入	205,519,400	207,433,746	▲1,914,346
	経常経費寄附金収入	4,190,000	4,927,260	▲737,260
	借入金利息補助金収入	0	3	▲3
	受取利息配当金収入	14,000	6,415	7,585
	その他の収入	5,264,100	6,239,420	▲975,320
	事業活動収入計(1)	688,234,500	719,206,412	▲30,971,912
	支出			
	人件費支出	560,880,000	569,391,781	▲8,511,781
施設整備等による収支	事業費支出	67,824,000	70,105,486	▲2,281,486
	事務費支出	36,840,500	50,608,512	▲13,768,012
	その他の支出	0	2,099,233	▲2,099,233
	事業活動支出計(2)	665,544,500	692,205,012	▲26,660,512
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	22,690,000	27,001,400	▲4,311,400
	収入			
	施設整備等補助金収入	102,090,000	102,090,000	0
	固定資産売却収入	70,000	80,000	▲10,000
	施設整備等収入計(4)	102,160,000	102,170,000	▲10,000
	支出			
	固定資産取得支出	488,357,000	486,985,700	1,371,300
その他の活動による収支	施設整備等支出計(5)	488,357,000	486,985,700	1,371,300
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲386,197,000	▲384,815,700	▲1,381,300
	収入			
	積立資産取崩収入	338,153,000	344,975,760	▲6,822,760
	サービス区分間繰入金収入	384,000,000	489,504,591	▲105,504,591
	その他の活動による収入	50,000,000	0	50,000,000
	その他の活動収入計(7)	772,153,000	834,480,351	▲62,327,351
	支出			
	積立資産支出	21,106,000	13,925,080	7,180,920
	サービス区分間繰入金支出	387,540,000	489,504,591	▲101,964,591
その他の活動による収支	その他の活動支出計(8)	408,646,000	503,429,671	▲94,783,671
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	363,507,000	331,050,680	32,456,320
	予備費支出(10)	0	0	0
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	▲26,763,620	26,763,620
	前期末支払資金残高(12)	179,999,427	179,999,427	0
	当期末支払資金残高(11)+(12)	179,999,427	153,235,807	26,763,620

項目	協力者人数	金額
賛助金	37名	1,079,000円
	子どもの養育の事業費等	
一般寄付	41名	2,926,260円
	高校生の部活 児童の習い事及び社会体験	
自立進学資金	16名	814,000円
	卒園者自立生活支援 (無利子貸付と返済)含 進学児童に支給	
特別物品寄付 招待・奉仕	247名	
	農作物・菓子類寄付・コンサート 招待・手廻り・学習ボランティア・ 散髪等	
計	341名	4,819,260円

*自立進学資金より就労移行に行く児童に
150,000円支給いたしました。

役員・評議員

評議員選任解任委員会

安東 秀典 岡部 光瑞 吉本 安宏
滝口 真 桑野 誠

役員

理事長 江口 敏一
理事 島田 晋
理事 猪股 通安
理事 近藤 功
理事 中島知夏子
理事 本庄 智宏
監事 吉本 安宏
監事 滝口 真

評議員

評議員 友永 丈一
評議員 山名 睦子
評議員 長野 哲也
評議員 細井 勇
評議員 平野紀美代
評議員 影山 隆之
評議員 文屋 典子

事業報告

乳幼児総合支援センター

院長 安西 恵子

管理運営

●人事及び職員構成

- 2023年度 新規採用…保育士3名 心理士1名
- 2024年度 新規採用…保育士1名 助産師1名
- 2024年度職員配置状況 41名(嘱託医を含む)

●入所児童状況(定員15名)

- 2024年7月1日現在 措置児童…6名 一時保護…3名
- 2023年度 入所人数…9名 退所人数…11名
- ショートステイ・トワイライト受け入れ件数129件 延べ日数499日
- 里親レスパイト 受け入れ件数59件 延べ日数143日

野口保育所

所長 工藤 直子

管理運営

●人事及び職員構成

退職者1名

- 2023年4月1日職員配置
施設長1名 主任保育士1名
保育士…正規職員11名/パート職員2名
栄養士…正規職員2名 調理員…パート職員1名

●入所児童
(定員60名)

	4月在籍数	3月在籍数
2023年度	42名	57名
2024年度	47名	

児童養護施設

施設長 岡田 豊弘

管理運営

●人事及び職員構成

- 2023年度 新規採用者…保育士1名
退職者…児童指導員1名
- 2024年度 新規採用者…0名

2024年度 職員配置

【本体施設・地域小規模児童養護施設】 7月1日付
施設長1名、総主任/個別対応職員1名、事務主任1名、
ケアワーカー 24名(児童指導員10名、保育士12名、調
理員等2名)、臨床心理士1名、管理栄養士1名、看護師
1名、家庭支援専門相談員2名、里親支援専門相談員1
名、職業指導員1名、地域支援コーディネーター1名
(育休中)、嘱託医(1名)、計35名

◆児童について

児童在籍者数30名(2024年7月1日時点)
(本園25名・地域小規模5名)

青山保育所

所長 本庄 智宏

管理運営

●人事及び職員構成

- 2023年度 新規採用者…栄養士1名
退職者…保育士1名

●入所児童
(定員90名)

	4月在籍数	3月在籍数
2023年度	74名	84名
2024年度	78名	

栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは、子どもたちの成長に、また、働く私たち職員の方にも大変大きな力となっていることをいつも嬉しく思います。

2024年4月1日より2024年6月30日まで

賛助金

大内英明様 大分市
岡口文明様 大分市
木村洋子様 大分市
齋藤正治様 日出町
立花旦子様 大分市
津田眞五様 大分市
帆足和生様 別府市
増田百枝様 日田市
松本小児科医院 松本重孝様 別府市
松本常圓様 別府市
宮澤淑子様 大分市
山口産業(株)様 別府市

一般寄付

安東秀典様 大分市
飯田法子様 佐伯市
一般社団法人ベアホープ様 東久留米市
いろは商事(株)様 別府市
岩田智子様 大分市
匿名様 別府市
匿名様 別府市
日本キリスト教団大分教会様 大分市
原順子様 別府市
B混記念合唱団クールあおやま様 別府市
別府溝部学園短期大学幼児教育学科様 別府市
山口巧様 別府市
渡辺英喜様 大分市
佛一粒社ヴォーリズ建築事務所様 福岡市
八代会協力者 福岡市
中根秀徳様・中根伸一様 福岡市
角野勝久様・河野一昭様 福岡市
佐藤義弘様・浅野誠三郎様 福岡市

自立進学資金

佐藤聖二郎様・嶋田徳行様
松尾拓也様・穴井伸一様

特別物品寄付

安東秀典様 大分市
梶原康弘様 大分市
神島慶子様 杵築市
山口巧様 別府市
冷凍たこ焼き 大鍛冶光子様
チョコレート (株)Daska & Desinee様
洗剤、消毒液、ハンドウォッシュなど (株)サンリブ 総務管理本部様
レタス コルディアール農園(株)エーエスシステムズ様
レタス コルディアール農園(株)林ケミックス様
新玉ねぎ・じゃがいも NPO法人むぎの会様
衣類・おもちゃ 味にわか様
子ども用衣類・紙おむつ 荒金美代子様
パン 石窯工房モコモコ別府店様
玉葱・じゃがいも 伊藤一幸様
甘夏 上杉敬三様
レタス 上野史子様
お菓子 たんぼば食堂 大柳恵子様
みかん 荻原書籍様
塩 小野農園 小野清様
雑貨 柏木一彦様
衣類・ランドセル・バッグ (株)ジャムズ様
クオリーサポートおおい(株)ひとさば様
パン・プリン ココラート様
夏みかん 小手川裕子様
米 まえはら薬局 後藤正己様
米 九州電力様
レタス コルディアール農園 九州電力様
レタス コルディアール農園 九州電力様
パン・お菓子 里の駅ふるさと市場木付弘子様
カレーフレック 三和商事(株)松村香宜様
お菓子(こどもの日) 柴田佳代子様
マスク・消毒液 下郡和子様
書籍 白木彩子様
米 ステラベース様
ぬりえカード 西部地区公民館 江本様
キャベツ・とうもろこし等野菜 高橋恵一様
衣類・玩具・布団雑貨 谷まい様
お菓子 匿名様

招待・奉仕

パン 友永パン様
玉葱・じゃがいも 仲内隆様
ボンカン・お菓子・いちご・びわ・とうもろこし 中山田正春様
きのこ水煮(ミックス) 中山田正春様
非常利一般社団法人おふくわけ 代表理事 三ヶ尻英明様
ピザ ピザラ 大分別府店様
米・野菜・フルーツ 永野誠治様
フルグスベルイエスキリスト教会 橋本和久様
梅干し 別府市公園緑地課 前岡みどり様
おもちゃ 門司一徹様
五月人形 (有)トス・カンパニー様
衣類 洋菓子 ラブリーテーブル
ティールームアンドデリ 山本花織様
絵本 若宮詩織様
乳児用靴・スタイ・衣類ぬいぐるみ 渡辺英喜様
わらび餅 黒木正道様
箱・ウド・ずいき・びわ・シソ 二宮洋典様
うさぎのぬいぐるみ (株)クレイブ 井上順子様
(株)ワールドプリンティング 木村様
税理士法人アクティブリック 田中様
社会保険労務士岡田事務所 岡田様
西日本シティ銀行 今田様
イチゴミルク 原口様
大分県連合みどり会会長 後藤慶太郎様
洋服 森田佳奈子様
カステラ 塩手公朗様
絵画 中島知夏子様
絵画 吉本安宏様
米 古賀正勝様
衣類 野中優子様
詩集 アリアヘアル 糸永えつこ様
ベビー用品 ベビーカー・バギー 池邊春奈様
ベビー用品 瀬木満理様
集いの場くるみ ボランティア
平川義文様・平川順子様
限元聖蘭様・吉里風香様
衛藤志歩様・東春美様
牧野千里様・仲内隆様
小手川裕一様・前田綾子様
West village 西村大輔様
散髪奉仕 beauty MORE 中村雄一様
散髪奉仕 hair salon Aiwa 立川奈美様
金曜学校 別府不老町教会 川野是様・尾崎二郎様
別府教会 庄司宣充様
別府野口教会 清野量様
書道 荒金節子様
ハンドマッサージ ハンドパードの皆様
タケノコ堀 むぎの会様

賛助会員募集

年会費、一口千円、但し、何口でも、分割可。
ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町3組です。
賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌「栄光園だより」を送付させていただきます。

郵便局での振込は左記までお願い致します。
口座名義 社会福祉法人 栄光園
口座番号 0193002220748

苦情等相談窓口

*法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。
tel.0977-23-2827
fax.0977-23-7520
mail eikoen@live.jp

編集後記

梅雨明けは、まだ先のようにですが、体温越えの猛暑が続いております。「これまで経験したことのない」というワードがニュースの中でよく聞かれるようになりました。地球規模の気候変化がとんとん進んできているようです。この先地球上の生物が生き残っていくためには私たち人類が、自国ファーストではなく、地球ファーストの考え方で地球環境を守るための知恵を絞るべきでしょう。そして、すぐにも行動を起こしていかなくてはならないと願っています。
(原田)